

(5班) 10 村重煌貴 さん 玉名工業高等学校

「空き家や空き地の活用について」

玉名工業高等学校1年、村重 煌貴です。

私たちは、空き家や空き地の有効活用について提案します。

提案しようと思ったきっかけは、毎日通学をするときに、開いていないお店が目立ち、お店が開いていても、居酒屋や婦人服屋などしかなく、私たち学生が洋服や靴などを買うことができないからです。

今、私たちは、洋服を買うだけでも、大牟田市や熊本市内に行かないといけません。しかし、その際に電車だと往復で約千円のお金が必要になり負担は大きいです。時間も、車だと片道1時間程かかりとても不便です。

私は古着屋や雑貨屋、靴屋など、若者向けのお店が欲しいです。旧国道沿いにいくつかの店舗ができて便利になったので、大型ショッピングモールができれば、もっと便利になるのではと思っています。

提案としては、広く使える土地には、大型ショッピングモールを作り、空き家や空き店舗には、若者向けの洋服屋、雑貨屋、靴屋、スイーツ屋などを作る。このような施設ができれば、若者はもちろん、年配の方や家族連れの方も利用することができます。

このようにして、空き地や空き家を有効活用することができれば、玉名市がもつとにぎやかになると考えますが、市長はどう考えていらっしゃるでしょうか。以上です。

答弁者：市長

玉名工業高等学校 村重 煌貴議員ご質問の、空き家や空き地の活用についてお答えいたします。

村重議員からご提案いただきました、空き家や空き地を活用し、様々な商業施設を立地させることは、市民生活の利便性向上のほか地域経済の活性化に繋がる大変有効な考えだと思えます。

店舗が立地する基本的な要因のひとつとして、消費者側の需要と商業者側からの出店の魅力度のバランスが合致して成り立つ部分があり、商業者側には是非とも玉名市に出店したいと思ってもらえる環境づくりが重要であると考えます。

現在、玉名市では新規に創業する方が空き店舗を活用する場合の支援策などを展開するほか、今年3月、玉名駅前の空き店舗を活用しサテライトオフィスやコワーキングスペースを有する「ホーム」をオープンさせております。その一方では、にぎわいのあるまちづくりを目指した「まちなか未来プロジェクト」を発足させ、市民の皆様と協働して、10年後20年後の玉名市の目指す姿を描く

玉名市U・18まなびの議会 2024.11.17

村重煌貴議員

「まちなかグランドデザイン」を今年度中に策定するよう進めております。こうしたまちづくりの動きにより、出店したいと思われる環境が整備されて行くと考えます。そして商業で賑わうまちになり、市民生活が向上し、笑顔あふれる玉名市が実現していくでしょう。

本日もご提案いただいた内容も含め、賑わいのあるまちづくりを進めてまいります。